

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	5
--------	---

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	リサイクル活動推進事業					
予算科目	4 款 3 項 1 目					
予算事業名	清掃総務費					
総合計画での位置づけ	住みよい生活環境をつくる					
担当課	町民生活課	担当課長	矢山 良寛			
事業担当者	八丁 由香	一次評価者	小森 政彦			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	容器包装リサイクル法、家電リサイクル法					
事業の対象	町内で排出される資源ごみなど					
事業の目的	<p>廃棄される資源ごみを回収し再利用することで資源を有効に活用し、ごみの削減につなげる。 町民の皆様に積極的に分別回収を行っていただく。</p>					
実施期間	開始年度	平成 12 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	<p>正しい分別収集を行うため、各地区にリサイクル推進委員を配置し、指導を行ってもらう。 また、資源物集団収集奨励金を出すことで、資源物回収の促進を図る。</p>					
目的達成の指標	$\text{リサイクル率} = \frac{\text{ごみ排出量に占める資源ごみの割合} = (\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量})}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	%	7.6	7.7	7.8	
実績	%	6.7	5.3			
指標設定の考え方	<p>平成30年度は平成29年度の1%減であったため、令和元年度は平成30年度の1%増を目指す。</p>					
事業遂行時懸案事項等	<p>分別の方法の徹底</p>					
事業実施時懸案事項対応等	<p>・リサイクル推進員さんからの質問・意見・要望にすみやかに対応を行う。 ・ごみを出しやすいように、4月1日よりごみの出し方を変更する(分け方と回収方法の変更)。また周知徹底のため年度当初のリサイクル委員さんの会議、「家庭ごみルールブック 保存版」の全戸配布等を行う。</p>					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 802 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	0.20
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,470	1,511	1,427	1,427
事業費	直接事業費	5,777	5,676	5,963	5,963
	人件費	1,470	1,511	1,427	1,427
	合 計	7,247	7,187	7,390	7,390
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,247	7,187	7,390	7,390
	合 計	7,247	7,187	7,390	7,390

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	5,777	5,676	5,963	5,963	
実 績	5,018	5,210			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
リサイクル推進委員報酬	円	332,000	378,000	378,000	
		319,500	360,000		
資源ごみ収集委託料	円	4,440,000	4,293,000	4,522,000	
		4,359,593	4,229,875		
資源物集団収集奨励金	円	736,000	736,000	736,000	
		339,300	318,480		
資源物倉庫設置費	円	268,920	269,000	269,000	
		0	301,400		
不適切なごみ出し件数	件	339	339	300	
		390	308		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 757 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891	
	③ 補助事業人件費		0	0	
	人件費(①×②-③)	1,437	1,511	1,578	
事業費	直接事業費	5,018	5,676	5,210	
	人件費	1,437	1,511	1,578	
	合 計	6,455	7,187	6,788	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	6,455	7,187	6,788	
	合 計	6,455	7,187	6,788	

実施備忘録

自己評価	評価者	八丁 由香
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

リサイクル推進員・地域の方々の協力のもと、リサイクル推進活動が適切に行われている。不良ごみについては、増えているが、リサイクル推進委員・当番の方々がしっかりと見てくださっているということもあり、適正に処理されている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

リサイクル推進を進めていくために、住民からの分別がわかりにくい、出しにくいなどの声に答えて、本年度はごみの分類・出し方の変更を行った。またイラストなどを沢山使ったわかりやすい『家庭ごみルールブック保存版』の全戸配布し、ホームページへの掲載等で周知を行った。小型家電の宅配回収導入を整備し、パソコンの回収もしやすくした。これはちらしを作成し、年末の大掃除時期に全戸配布を行った。インクカートリッジの回収も始めた。3Rについてもルールブックに啓発ページを設けた。ごみの量を毎月広報で公表している(種類別、資源化されるもの一人一日あたりのごみ量、前月比も提示)。改善は図っているがリサイクル率は上がっていない。今後も啓発に力を入れる必要がある。

一次評価	評価者	小森 政彦
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となるのが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

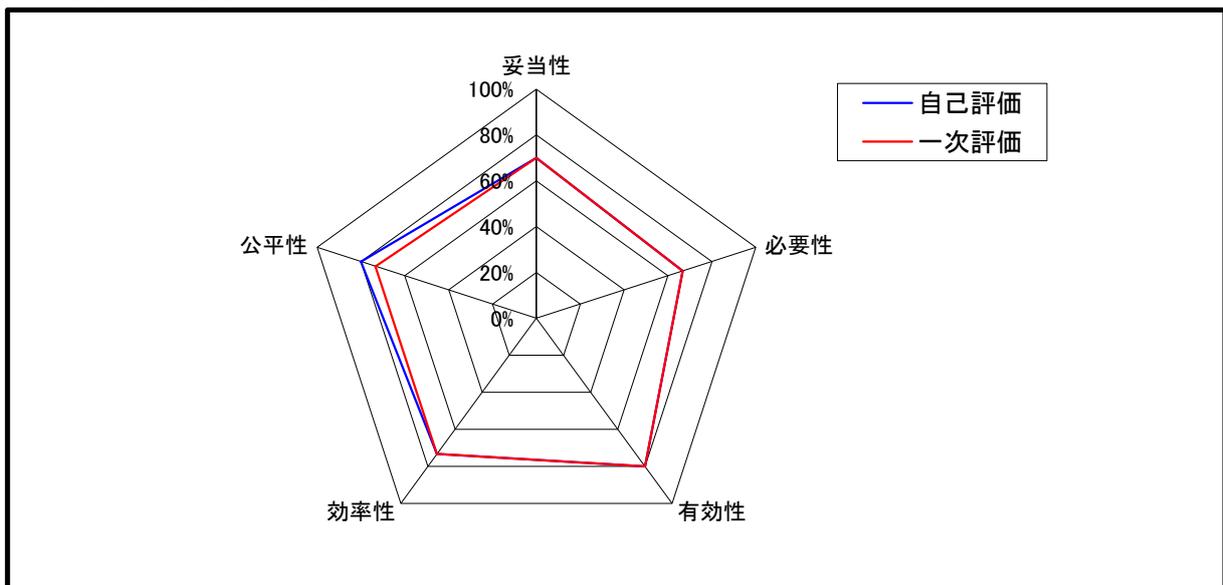


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

ごみの分別回収を行い、廃棄されるごみをリサイクルすることは、ごみの減量化につながり必要不可欠である。毎月1回、燃えないごみ・資源ごみを回収している。各地区の回収場所でリサイクル推進委員と当番の方に積極的に「正しいごみの出し方」の指導をしてもらっている。今後もリサイクル推進委員の質問・意見・要望を「現場の声」と捉えて、早急に対応しなければならない。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	矢山 良寛
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

各国が、環境問題に取り組んでいる中、グレタ・トゥーンベリさんにより、一人ひとりの自覚が重要なことに気づかされ、大きな共感を呼んでいる。当町も、今後もごみの減量化・分別収集を推進していくことが重要と考える。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--